

令和6年3月教育委員会定例会会議録

日時 令和6年3月15日（金）

10:00～12:00

場所 役場 第2会議室

出席者：森田教育長、馬場委員、富木委員
山下委員、松尾委員

事務局：朝長次長、太田係長、渡邊指導主事

1. 出席者の確認 全員出席

2. 会議録署名委員氏名

富木委員、松尾委員で了承されました。

3. 前回会議録確認

（2月定例会の会議録を確認。）

4. 報告事項

1) 教育委員会

2・3月事業報告、3・4月予定について

（別紙により朝長次長報告）

2) 給食センター

2・3月事業報告、3・4月予定について

（別紙により太田係長報告）

※報告事項（追加・その他）

森田教育長

つけ加えを少ししてから、後でご質問ご意見をいただきたいと思います。2月20日大石一久さんが調査に来られています。文化財と一緒に町内にある墓石等に何が書いてあるか拓本を定期的にとられています。

3月10日日曜、講堂で義援コンサートが行われています。例年は5月と11月に行われますが、能登半島地震支援のために前倒しで開催されました。町内外のアマチュアバンドというか、音楽愛好家の方々のコンサートがお昼からありました。とてもいい雰囲気のコンサートだったと思いました。

13日、町内のSSW、ソーシャルスクールワーカーが2名いますが、毎月1回は定期的に報告会を行っていますが、1年間まとめの報告会を開催しました。不登校不適應など気になる子供たち、あるいは保護者の方々の情報交換を行いました。その中で、近頃の子供たちというよりも、保護者特に母親の養育能力が大変厳しい家庭が増えてきている傾向があって、な

なかなか学校側のアクションが響かないという課題が一つあります。もう一つ、医療療育の関係で医療機関に掛かった時、学校側の意見とか状況は全く分からないので、その保護者と子供だけの意見をお医者さんがお聞きになります。そうすると、そういう状況だったらもう学校に行かない方がよいよとか、それはちょっと学校の対応がまずいねとか、そういった状況になって、病院の先生から言われたので、もう学校に行かせないという判断を下される家庭が少しずつ増えてきています。これは一つの課題かなと思っていますところがあって、医療療育機関との連携は本町だけではなくて、他の自治体でもそういう場面は結構あるようです。例えば、今回ちょっとショックだったのは、高校受験で合格したので、もう合格したら残り2週間は学校へ行かなくて良いじゃないということと言われたようで、その子は昨日の卒業式まで学校には来なかったということもあっています。医療機関との連携をどういうふうに図っていけばいいのかなと気になっています。

それと、男の子たちにゲーム依存がちらほら出てきて、昼夜逆転現象が起きてしまっています。何とかありますよとか、私が昔そうだったからとか、残念ながら保護者の方が余り危機感を感じていらっしやらない。当然ゼロではないだろうとは思っていますが、いよいよ根負けしてしまって、子供の方がおうちでは天下を取っているのか、全て子供のご機嫌を伺いながら、言うとおりに対応してしまって、強く言えない保護者の方が増えているようだ、そういった話もでてきます。

最後に話をしたのは、中学3年生になった時、必ず高校受験という最初の荒波がやってきます。1・2年時、不登校で学校行かなくても良いと言われているので、どうしても学力がついていません。そうするとどうしても高校の進路変更をしなくてはいけなくなります。自分が行きたい、成りたいと思っていた進学進路が、不登校・不適應で学力が保障されていないので、進学先を変えた子供もいますし、残念ながら結果が厳しかった子供たちもいます。ですから、そういったことを、特に中学3年生に進級した時には、強めに学校から保護者の方や本人に話をする必要があるのではないかという話もしました。学校に行かない選択肢も確かにあるだろうとは思いますが、中3の冬に大きな試練があるということはしっかり自覚させないといけないということを、子供たちや保護者に啓発をしていけたら良いねという話を、ソーシャルワーカーとはしています。そのことについては各学校で確実に協議をしてほしいということをお願いをしたところでした。

4ページの3月のところで、21日に今年度最後の町内校長会を行います。10番のいきいき大学開講式のアトラクションについては、山口修夫妻をお招きしてギターコンサートを行います。

勤労福祉会館にあった働く婦人の家が、3月をもって閉館という形になって、事務所は隣の陶芸の館に移りますし、行っていた研修等々は教育委員会の方で引き継ぐという形になっています。25日に最後の理事会が開催されます。

4月7日午前に消防団の入退団式が文化会館の方で行われます。12日自治会長会と事務長の合同会議です。21日日曜日波佐見町婦人会の総会が5年ぶりに開きたいということで、先日清水会長さんが案内を持って来られました。

先ほど給食センターからもありましたが、今年中学2年生が町内のいろいろな業者さんのところに職業体験に行っています。小学校とか図書館にも行きましたし、園に行きたいということでしたが、園の方からまだコロナとかインフルが怖いのでということで、今年度までは申し訳ないと断られています。かなりの業者の方に受入れてもらい、とても貴重な経験ができたのではないかと思います。

以上、付け足した部分も含めてご質問、ご意見等はありませんか。

富木委員 3月12日に文化庁の窯跡現地視察とありますが、ほとんどが屋外だろうと思いますが、経年劣化による保全とか、そこら辺りの調査に来られたということでしょうか。

朝長次長 今回の工事の状況とかを確認に来られたということでした。今、中尾上登窯で行っている災害工事がどういう形で仕上がっているとか、今後どういった工事を計画しているか、そういった打合せを現地の方で行っています。

森田教育長 県の文化財担当の主任主事も一緒に来られ、町内7か所の国史跡の現状を確認したり、今後これをどう保全・活用していこうかという視察のようでした。6年ぶりに来られたということでしたが、とてもフレンドリーで、中野・盛山両学芸員とも親しくされていて、私としてはとてもありがたいと思いました。それと波佐見町に対して高い評価をされていて、これだけのものがこの小さい町にたくさんあるということで、これからの保全活用について、とても良い意見交換ができたのではないかと思います。

富木委員 国の支援となってきたら、保全とかの費用については国からの補助が出ますか。

朝長次長 今、文化的景観の指定を受けるように進めていますが、その指定がなされれば、まさにそういった保全等に対して国からの補助金が出てきます。

富木委員 ありがとうございます。

森田教育長 他ありませんか。では、次に行きましょうか。3番、3月議会定例会について、説明をお願いします。

3) 3月議会定例会について

(別紙により朝長次長から報告)

朝長次長	今回の議会の一般質問については、11人中7名の方からご質問をいただきました。
	【資料にて説明】
森田教育長	資料を添付しております。中身についてはもちろんそれ以外のやりとりがあったと思います。議会のことで何かご質問、お尋ねがありましたらお願いします。
富木委員	一般質問の中の最終質問者の答弁で、教育長が最後に「教育のまち波佐見」ということで答弁をされていました。選ばれるまち波佐見に住めば、自分が賢くなる、優しくなる、豊かになる、たくましくなる、これを実感できる教育の町を目指したいということで答弁されていました。私も教育委員会に参加させていただいて、そういった教育長の目指されるまちづくりと一緒に推進していきたいと強く思ったところです。
森田教育長	プロスポーツ観戦について、文化的なものについては向こうからいろいろなオファーが確かにあっていますが、プロの一流の技を見る機会というものがないと思っていましたので、とても良いご意見をいただいたと思っています。先ほど次長が説明した通り、良いタイミングでVファーレンとヴェルカの案内があって良かったなと思っています。本町でプロスポーツを呼ぶことはハード的になかなかできないところもあるので、例えば大村とか佐世保でプロスポーツがあれば、募ってバスを貸し切ったり、あるいは参加費を補助したりしながら、年に2～3回程度プロスポーツ観戦ができないかなあと考えています。東彼杵町はそういうイベントがなかなか無いということで、町のバスがあるということかも知れませんが、以前からそういう参加費の補助を行っているということを知っていましたので、是非参考にしたいなと思っています。今回の質問では、私たちも気づかされたというか、本当だなあというところで、スポーツに対する触れ合いもとても大事だなと思いました。
富木委員	県内に限るとVファーレンとかヴェルカとかはありますが、バレーの場合は鳥栖に久光製薬、野球でいえば福岡ドームがありますので、そういったいろいろなスポーツをしている子供たちがいるので、先々そういった意見も出てくるのではないかなと思っています。
森田教育長	実業団レベル以上は、どうしても観客数が必要となるので、本町レベルで呼べそうなのが、バレーボールと、テニス、卓球ぐらいかなと思っています。バスケットはゴール下での走り込みがいるということで、バスケット

トはできないということでした。そういう方々との連携が取れるのは、スポーツ協会、あるいは県事業辺りと思っているので、もしそういう情報提供があれば、積極的に手を挙げて、波佐見町で開催をして欲しいというアピールは行っていこうと思っています。ただ、どうしてもそういうイベントが無い時には、前田議員がおっしゃったように、近隣市町で開催されるプロスポーツに、子供たちを募ってそこに出掛けて行くということを行っていきたいと思います。これはとても良い意見だと思っていますので、前向きに検討していきたいと思っています。

あと北村議員の外国との交流のご提案はとても面白い取り組みだと思っています。あとはお金の問題が出てくるとは思いますが、先ほどの教育の町というところも含めて、そういう外国との交流、ホームステイ等、波佐見町の一つの特色ある教育事業として魅力的だなと思っています。天正遣欧少年使節事業では、南島原市は単独で毎年中学生をヨーロッパに派遣されていますが、本町では今のところ3～4年に一度派遣している状況です。大きなグローバル的な感覚を身につけることは、とてもいい取組だと思いつながら、ご意見としてはありがたかったと思っていますが、実現化となるとなかなか難しいところもあるのかなと思っています。

子育て世帯への支援というところで、もういろいろなニュース等々でも委員の皆さんもご存じのように、まず給食無償化に対する動きが大きく一つあります。もう一つ、通学補助、特に高校生以上の通学補助。それと入学準備にはどうしてもお金が掛かるということで入学準備金支援。また近頃はドリルとかテストとかそういう教材費に対する補助という大きく分けてこの4つのパターンがあるようです。県内では、給食の完全無償化に踏み切ったのが、雲仙、諫早と波佐見町、そして東彼杵町が完全無償化に4月から入ります。一部無償化の取り組みは、佐世保と川棚町は中学校3年生のみで、佐世保市も宮島市長の公約で、中学生は全額無償に恐らくなるだろうと思います。そういうふうに自治体によってバラバラで、早く国があるいは県が方針を決めてくれという話は出ているようです。

入学準備金については、東彼杵町が小学生3万、中学生7万ということで、補助を4月から始められます。通学補助も東彼杵町には町内に高校がないということもあるので、2分の1とか3分の1補助を、昨年度9月から始められています。あと教材補助は県内ではまだどこも行っていないです。小学生で5～6千円から中学生で1万円ぐらいです。その補助を打ち出しているところもあるようです。

一応私たち教育委員会は、委員の皆様にもお話ししたように、町長部局の方には、通学補助と入学準備金について前向きに検討してほしいということで金額を出して提案しています。しかし、現段階では保留ということで6年度の予算化は行われませんでした。今のところ、給食費について国の動きがあれば、その給食分が浮きますので、それを回すことはできるという話は頂いています。そうではなく、少しでも早く取り組んでいただけないかという話を行っています。波佐見に住めば、そういうところの支援も充実しているよねと、魅力発信に繋がっていくということで、前向きに

検討をお願いしたいということを、改めてまた総合教育会議等でも訴えていきたいなと思っています。

各自治体やっばりお金と町の財政との絡みもありますので、子育て世代への支援ということで、少子化対策あるいは移住定住の促進という大きな目標があると思います。ここ3か月連続ですが、新聞の人口動向を見ると、波佐見町と大村市だけが人口増となっています。他の自治体は全て減になっています。とてもありがたいなと思っています。やっばりそれだけ波佐見に住みたいという方が、かなり増えている中で、もっと魅力を発信していけたら良いと思っています。町長部局とは今後もそこら辺りの話を含め継続して話ができたら良いかなと思っています。

馬場委員

島原市は、何かランドセルを準備するとか。

森田教育長

はい、島原市はひも付きのリュックサック的なものを、900万円でしたか予算化しているようです。大村市は制服支援を行われますが、実際国の調査では、中学校の入学に関しては最低でも10万円掛かっているようです。小学校でも、就学支援の県のデータを見たら、小学校の入学に関する補助金が6万円ちょっとでした。特に中学校になるとやっばり10万以上は実際掛かっているのかなと思った時、前も言いましたように、谷口前教育委員さんもそのところがとてもきつかったと話されていました。実際この前も渡邊先生が対応されましたが、入学の時にお金が掛かるということで、何とかそこを支援してもらえないかと保護者、地域の方々の声はかなりあるようです。

それと高校生の保護者の皆さんは、通学費がとにかく高いから補助してもらいたいと希望されています。実際、私立はバスで迎えに来てくれますので、今公立に公共交通機関で通う方が高くなっています。私たちも一学年130人で計算をして、大体これぐらいかなということで、一応町長には提案しています。確かに総合運動公園を造って、交流人口を増やしていきたいということも、とても大きな魅力発信とは思いますが、先ほど次長が説明したように、建設費も莫大で維持管理にかなりお金が掛かるとなると、その部分を子供たちに回すとなると、今言ったことが全部クリアできていると思っています。どちらが人への投資として良いかなと考えた時、そういう思いを正直感じているところです。難しいところかなとも思っていますが、波佐見町はありがたいことに、一応今回減ったといっても18億を超えるふるさと納税があるわけですから、そこを有効に活用できないかなと思っています。

はい、4番の議題、就学援助の認定について資料をお願いします。

4. 議題

1) 準要保護（就学援助）の認定について

朝長次長

はい。今回は継続申請が9件、今日ちょっと1件増えまして、児童扶養手当が7件から8件になります。それから新規が3件、後また非認定が3件ということで、申請が上がってきています。

【資料に基づき説明】

あと、レジュメの6ページ7ページに就学援助の資料をつけさせていたでいています。これは令和5年度の数字となっています。学用品については小学校が13,900円、中学校2,3年が25,000円となっています。あと新入学児童生徒の入学費用が小学校が54,060円、中学校は63,000円、3番が修学旅行について、参加した場合の上限として小学校は22,690円、中学校は60,910円。4番校外活動については、宿泊を伴うもの伴わないものでそれぞれの数字が上がっています。5番目に学校給食費がありますが、実費額となっています。ですので、就学援助の認定をされた方は、こちらの補助金の方で、給食費は見ます。この就学援助に認定される方以外の給食費を給食センターで6,000万ほど予算要求をしています。就学援助については、率はいくらか分かりませんが、国の補助金が入ってきます。給食無償化の6,000万は本町の単独ですので、ふるさと納税から措置されています。学用品、通学用品については、年に2回、6月と10月に分けて振り込みがあります。新入学用品については、2月の定例会に間に合ったものについては、3月末に振り込まれます。3月以降の申請については6月に支給されます。あとは修学旅行、郊外活動については、実施後に振り込みとなっています。

この数字は5年度の数字です。6年度の数字がまた新たに示されるようですので、入学用品費についても改定があれば、そのプラスになった分は、後日振り込みをするということでした。

森田教育長

いかがでしょうか。1.25、1.25、1.98、大変厳しいですが、基準値を上回っているということで、この3名の方は不認定という形でよろしいでしょうか。また、それ以外の方は基準値内ということと、児童扶養手当の対象者ということで、認定ということによろしいでしょうか。

【委員承認】

5. その他

- 1) 教職員転出者あいさつについて
- 2) 教職員の人事異動について
- 3) 小学校の卒業式について
- 4) 小中学校の入学式について

森田教育長 はい、それでは、持ち寄り議題はあとに回したいと思います。その他で教職員転出者あいさつですが、いつもより3～4日早いですが、今日先生方へ内示があります。昨日校長に内示をし、今日先生方に内示がありますから、明日明後日が新聞発表だと思います。そうすると18日19日には、学校から保護者の方に情報提供があつて、恐らく22日が離任式になりますので、22日に挨拶に来られるか、25日の月曜日に挨拶に来られるかということになると思います。しかし、ここは総文と違って執務室にスペース的なものがないので、入ってきて言葉を交わすこともできないかなと思っています。お疲れさまでしたぐらいしかできないのかなあとは思っています。もし教育委員さんたちが都合がつかれたら、学校からの情報が分かりましたら、後からお知らせをしてご同席いただければと思っています。よろしいでしょうか。おそらく挨拶に来られるのは、3月25日だと思います。

教職員の人事異動については、書いてあるように退職者への辞令交付式が3月29日15時から第4会議室です。1日が新任転入者への辞令交付です。

3番の卒業式については、大丈夫ですかね。ご自分の参加の部分は大丈夫でしょうか。行政の参加者もそこに確定したものをつけています。4番の入学式の期日と参加者になっておりますが、大丈夫でしょうか。よろしく願いいたします。

昨日の答辞、送辞を言った子供たちはとてもすばらしかったですね。A君は昔からですが、Bさんがすばらしかったですね。

馬場委員 最近すごいですね、子供たちの挨拶がびっくりするくらい素晴らしいですね。ここ何年間か、良い挨拶ばかりしていますね。

森田教育長 高校の発表者も、もう全く職員が手を入れなかったと校長が言っていましたね。彼女は去年の生涯学習の時も意見発表をしたし、弁論の部分もやっているところがあるので、話し方も上手でした。是非来年度はもう一度波佐見高校に来て欲しいと話してあります。聞くだけでも勉強になるような話をしたので、今年は済みませんでしたということでした。

山下委員 卒業式の集合は何時でしょうか。

朝長次長 小学校は、校長室に9時半までに来てくださいとなっていました。

森田教育長 前は、9時半開始だったのですが、挨拶がなくなった分だけ遅くなったの

かも知れません。

松尾委員 子供たちは登校後に在校生は下校ですか。

森田教育長 いや学校によって違います。東小学校は全員出ますので、中央は帰してありますが、本当は会場が広いので、全員出させても良いんでしょうけど、どうしても式の指導の関係があるので、コロナの部分があってどっちが良いかなとなっています。挨拶が短くなったのはとっても良かったと思っています。挨拶がないだけで30分違いますからね。

馬場委員 短くなれば、全員出しても良いんでしょうけど。

森田教育長 そうですね、これからの様子を見ながらというところもあるので、参列の部分がどうしても、呼びかけがしにくいところもあるので、そこらあたりは学校の規模等でも違うところもあると思います。集合時間の9時半は大丈夫ですよ、もし違っていたらまた連絡します。恐らくそういったことで、開式がいつもよりも遅くなっているのかもしれない。

馬場委員 すみません、入学式の副町長というのはそろそろ決まるのでしょうか。

森田教育長 一応3月議会の最終日に副町長の提案をされます。恐らく承認されると思いますが、その方がまだ勤務されているということで、氏名等についても私たちも一切お聞きしていません。本人からの内諾は得ているということで、3月22日の最終日には上程をしたいということでした。この前、議員の皆さんにもそういう報告がありました。あと自治会長会の中でもお名前はまだ言えないけれども、内諾は頂いているということで紹介がありました。

他ございませんか。それでは、持ち寄りも含めて、その他という形で様々なご意見を頂ければお願いしたいと思います。

4. 議題

2) 持ち寄り議題について

馬場委員 一つ提案で。また今年も、各小中学校の卒業証書を書かせていただきました。今回卒業証書フォルダーを町から頂きましたが、少々大きいのではないかなと思っています。結局フォルダーで折り曲げてしまうことになるので、書くのには問題ありませんが、もう少し小さくしたらどうなのかなということをちょっと提案したいかなと思っています。A4判サイズでも良いのではないかなと思っています。義務教育なので皆もらえるので、あんな大きいものでなくても良いのかなと思っています。費用も掛かるだろうし、書きながらいつも思っていますが、証書を半分にして、半分は学校の

写真とか、そういったものを載せればどうなのかなということを思っています。

渡邊指導主事　　そういうタイプの証書もありますよね。今回はこういう形で、全面に証書があって証書が折り曲がるという感じでした。あるところは、今おっしゃったように半分の証書で、あと半分は何か別なものが挟まっているというタイプのものもあります。

森田教育長　　中学校と同じ物にしたんですよね。

馬場委員　　小学校も今回は同じでしょ。多分そうだと思って、先々ではそれを開けて見るということは、例えば、大学とかだったら、証明書を取る時に、それコピーしないといけませんが、小中学校の証書は普通コピーしたりすることはまずないでしょうし。

渡邊指導主事　　今回、校長会の中でも確認をしましたが、今までは、くるくると丸めて筒に入れていました。やっぱり声としてあったのは、筒に入れた証書はなかなか開けて見ることはないだろう、しかしこのファルダーなら立てて置いておけることも出来るので、目にすることもあるだろうから、こちらの方が良いということが一番の理由でした。今おっしゃったように、半面の証書で、半面別の例えば写真であったり全体の部分であったりっていうことは、それも今度は提案という形で試してみても良いかなと思います。

森田教育長　　中学校方式の方が良いよねというところがあったので、それと思ったより金額的に高くなかったので、今回のフォルダータイプにしました。でも、今おっしゃった部分で予算との絡みがあると思いますが、どういう形が良いのかですね。はい、分かりました。他ございませんか。はいどうぞ。

山下委員　　地区の役員の方と会う機会がございまして、地区の年度末のPTA総会に参加させていただくことになりました。その中で、車登校をする子供が多いのはどうしてだろうとかという話をしていたら、子供自身が乗せて行って欲しいと言うところが多いというような話を聞いたりしました。親だけではなくて、子供の方にも話をするということが大切なのかなと思いました。あと今の保護者の方が、どう考えていらっしゃるのかを聞く良い機会かなあとと思ひまして、参加をさせていただくことになりましたので、また情報等あればお伝えしたいなと思っております。

森田教育長　　乗せてくれと言っているのは、小学生ですか、中学生ですか。

山下委員　　小学生みたいです。今までは、お母さんたちから乗せていこうかと言って、登校班の子供たちも一緒に乗せて行ったりとかあったようですが、最

近は子供たち自身がちょっと学校まで行くのに、濡れるのが嫌だから乗せて行って欲しいと言っているようだと言っていたりしたので、どういう状況なのかちょっとお聞きしたいなと思って、参加をして聞いてみました。

渡邊指導主事

やはりここ何年か特に、車での登校が増えてきたように思います。中央小学校でも、このあいだ校長と話をしましたが、今はだいぶ多くなってきましたというようなことでした。子供が入ってくるころまで乗り入れてきたり、その辺の安全性の問題もあるよなということを、心配されていました。どうしても、おっしゃるように雨が降った時、集団登校をしている子供たち皆を一緒に乗せてというところもあるようです。それとはまた別に、ちょっと学校に行きたくないとか、いざという時に、車で送っているようなところもあるということを聞いています。ですから一昔前までは、雨が降った時には、代わりの靴下を持たせてとか、そういうことを呼び掛けしたり、保護者もそういうことをやっていただいていたと思いますが、今はもう安易っていうようなところも、残念ながらあるような感じがします。

山下委員

それと、4月から新1年生が、小さな地区でも11人いるみたいなことを聞いて、それでPTAの役員さんも、ちょっとこれではどうかなと思ってるところですということでした。また、そこでお話が聞けて、年度初めの総会には民生委員さんも一緒に呼ばれたりとか、交通指導をされている方もいらっしゃるの、そういうところとの情報交換とかできたら良いかなと思っております。

森田教育長

中学生の車登校がかなりの割合がいて、本来ならば自転車登校が半数近くはいるはずなのに、実際は多分5分の1、4分の1とどんどん減っていつているのが現状ではないかと思っています。そういう兄妹を見れば、うらやましいな、良いな、僕も私もということはきっとあるだろうと思うし、例えば同じクラスあるいは知り合いの子供がいつも車で来ていたら、良いな、うらやましいなというのも当然あっていると思っています。でも今おっしゃったように、基本的に耐性の教育ということは、波佐見町の大きな教育方針の一つになりますので、登下校については、原則徒歩または自転車ということにしているの、特に年度替わりですから、改めての指導ということ、やっていく必要があると思います。おそらく固定化された保護者の方が、ほぼそういう動きをされているのだろうとは思っています。どうしても怪我とか病気とか何とかがってということはあるとは思いますが、そういう理由ではなく、仕事とかのついでにとか、子供が強く言うの、とか、確かに増えてきたと思っています。以前は雨が降ろうと、何であろうと結構みんな歩いてきていて、歩いて来るのが普通でした。今はちょっとした雨でも、車で来るということが増えてきているのは間違いないかなと思っています。分かりました、これについては、改めて校長会あたりで、4月当初の耐性の教育として議論したいと思います。学校の教育方針、町の教育方針として、徒歩、自転車通学を波佐見町では強く推進しています

から、ご理解ご協力くださいということを改めて周知をしたいと思います。PTA総会等でも、会長あたりからも話をしてもらうような形で行きたいと思います。これは、この繰り返しの指導しかないだろうと思います。はい、他どうぞ。

太田係長

すいません、給食費の無償化のことで、今回、給食費が無償化となった場合、町外の小中学校に通っている子供さんに対しては、何もないので町外に通っている方に対して、予算が通りましたら、申請をしていただければ、小学生が年間5万円、中学生が年間6万円の補助をすることを考えています。それと、アレルギーで給食を食べられない子供さん、あと宗教上の理由の子どももいます。それに対して給食の代わりにお弁当を持ってきた際にはなりますが、週1回以上、月3回、弁当を持ってくる保護者に、中学生が月1,200円、小学生が月1,000円を補助していこうと思っております。こちらは、栄養士がメニューを確認して、この子供は弁当を持ってくるであろうというところで確認していこうと思っております。本当なら学校側にチェックをしていただければ助かるかなと思っておりますが、先生方にご負担を掛けられないなということで、栄養士の方でチェックしていこうと思っております。

森田教育長

自治体によっても町外まで入れているところもあるので、本町の場合も町外通学者を対象にしようと思っております。今小学生はいないかなと思いますが、支援学校に行っている子供はいないと思っております。中学校は町外の中学校に行っている子供がいるので、同等の補助をしたいと思っております。他ございませんか。

松尾委員

すいません。標準学力テストの結果が戻って来ていると思いますが、今回はどうだったのかなとお聞きしたいと思います。

渡邊指導主事

はい、標準学力検査の第2回目の結果が出てきました。今度の校長会で話題にするとともに、その内容についてちょっと検証をしていきたいと思っております。普段の取り組みの様子であったり、日頃の授業の在り方、支援の在り方等も含めてですね。どうしてこういう結果になったのかということを、ちょっと明らかにしていきたいと思っております。学年によって伸びているところ、なかなか伸び悩んでいるところもありますので、その辺りも視野に入れながら、学力向上に向けて進めていきたいと思っております。

森田教育長

標準学力調査を年2回実施することで予算化しています。これもとてもありがたい、とても大事にしたい取り組みであります。4月に行うのは、前年度の学習内容を把握するために行いますが、前年度の担任の力量になります。2回目は12月や1月に行いますが、現学年の担任の指導力が問われて来るという形になります。もちろん内容が違う訳です。前の学年を調

べるのが4月、今の学年を調べるのが12月1月。なぜこれをしたかという
と、全国学力や県学力は5年生と6年生が受験しますが、学校全体の雰囲気
が5年生の担任の先生に注目をされてしまいがちです。5年生の先生の指導
力がないから何とか、6年生の先生の指導力…ってということではなくて、
問われているのは5年生になって直ぐのテストなので、1年生から4年生ま
での学習内容が出ている訳だから、全員に責任があるよねっていうところ
を、全員に自覚をしてもらいたいということです。標準学力調査を行うこ
とで、この学年の学習内容はここが出てくる。ここについて担任の先生に
責任を持って、自分が教えている時にしっかり身につけさせてくださいね
ということ、きちっと自覚してもらうために、2回実施を予算化したわ
けです。今回2回目の結果が出てきた訳ですが、ある意味私たちの予想が
当たっている部分もありました。もう何とかなるとかのレベルではなく
て、やっぱり子供のことをしっかり考え、学力もつけないといけないし、
学校にもちゃんと行かせるようにしないといけない、そのための環境整備
もしないといけない、保護者でもっと頑張らないといけないというところ
をアピールしています。そうしていかないと、保護者の方の意識が変わっ
ていかないのではないかと、学校からの情報発信をもっとシ
ビアにやっていかねければと思っています。もっとやっぱり学校側の思い
とか、私たちの思いを伝えていって、訴えていく、そして協力をしてもら
う、保護者の意識を高めていく、変えていくということが必要なのかなあ
と思っています。

大きい学校だからというのは理由にならないちょっとシビアな話を、学
力向上推進委員会とか校長会でもしました。広田小学校は今児童数が880
人で、佐世保では一番のマンモス、県内では5番目に落ちましたが、それ
でも880人います。校長は知り合いで、話をしますが、小学校5年生、6年
生の全国学力調査は県平均より全部上です。佐世保の奇跡と言われていま
す。広田は今文教地区になっているので、ほとんどが塾に行っているとい
うことも、もちろんあるとは思いますが、大きいから学力が低いとかいう
ことはならないよねということを証明しています。ちょっとシビアに、中
央小学校は郡内では1番大きいけれど、広田小学校の半分もいません。残
念ながら広田小学校は県平均全国平均よりも全部上です。だから大きいか
らということとは理由にならないんじゃないですかということを、シビアに
校長会とか言わせてもらっています。大きさは関係ないということは、何
だろうかと、広田小の校長が言うには、先生方の評価力が違
うって言いました。自分は校長として先生方に評価力、見かじめ力ってい
うことを、とにかくやかましく言っているということでした。この子は何
が分からなくて、その原因は何なのかということキチッと分析をして、
だからこの子にはこういう対応をしてあげると、その子が伸びることをし
てやる。やっぱり子供たちが勉強が分かったとか、面白かったというその
笑顔を見るために、しっかりと関わっていく。だから見かじめをする力、
指導力というよりも、私は評価する力、子供を見かじめする力というの
が、とても大事だということを先生方には訴えて、特に中堅若手をどんど

ん鍛えています。いろんな小さなことでも良いから、あるいは勉強が分からないと言え、それが分かるまでキチっと対応して、子供たちが笑顔になってきているということでした。いま広田小学校は不登校もどんどん減っていった、子供たちが学校に行くことが楽しいと言っている子供たちが、すごく増えてきたということでした。数年前まではもう大変な学校だったのが、今では保護者アンケートでも、ほとんどクレーム的なことはもうなくなったと言っていました。そういうところを校長会とか、学力向上推進委員会にも訴えています。やっぱり私たちは努力しないといけないだろうし、それをちゃんと伝えて、保護者の方々もやっぱり踏ん張ってもらわないといけないし、考えてもらわないといけないところもあると思っています。

松尾委員

どんどん出した方が皆さんご存じない。保護者の方が、危機感がないとかではなく、多分皆さん分かれば、これじゃまずいと思われるので、皆さんご存じない。やっぱりお知らせするチャンスというか、それを逃さないように、どこの保護者さんでもそうですが、こういうことがあっていて、今の波佐見町の現状はこうですよということを、しつこく言って1人でも協力してくれる保護者さんを増やしていくことだと思います。今若いお母さんたちのネットワークは広いので、情報もどんどん入ってきますし、進学の問題とか、学校の中でも習熟度の問題とかも、我が子はどうなのかっていうところを少し考える時間が家庭の中で、あると良いかなと思います。標準テストあっていることも知らない、いつあったかも知らないという保護者さんがほとんどだと思います。

森田教育長

かなり発信はしていますが、今発信手段もいろいろ出てきているところがあるので、デジタルをうまく使って、ホームページもかなり更新をしているし、情報提供していますが、いつも話題になるように見て欲しい人に届かない。伝えたい人に伝わらないっていう、もう永遠の課題がここにもドーンとあるでしょうけど、ただ文章は見なくても、スマホは見る方が多いので、スマホをうまく使っていかなくてはいけないということで、発信力は結構今学校は頑張っているところかなと思っています。それでもやっぱり見ていない方もいるし、知らないという方もいらっしゃるんですね。情報発信をもっと強化しないと思っています。良いことだけではなくて、シビアな部分もですね。

富木委員

12月ですかね、髪の毛の問題もありましたが、そこら辺りもまだ引き続きですね。

森田教育長

そこら辺りは、古賀校長はやっぱりそういう危機感を感じながら、かなり強力な発信をされているとは思っています。

他かございませんか。時間も迫ったようです。次4月についての日程を決めたいと思います。

【日程調整】

では、4月の教育委員会定例会は、4月24日（水）10時から役場で行いたいと思います。

長時間ありがとうございました。令和5年度も終わりますが、この1年間ありがとうございました。皆さんのおかげで、良い方向性を求めながら、頑張っている教育委員会ではないかなと思っておりますし、他町から見れば、すごく頑張っている町ということで高い評価を頂いておりますが、中身を見ればいろんな課題もありますし、それに対して私たちは本当に真摯に向き合って、頑張っていかなければと思っています。今後ともご支援頂きながら、正しくそういった中身の濃い教育委員会になればということをおと思っています。よろしくお願いします。お疲れさまでした、ありがとうございました。

※次回定例会予定 令和6年4月24日10時00分から
役場 会議室

令和6年3月15日教育委員会定例会会議録署名	
署名	松尾 保子
委員	高木 義典